

co-op

三重の生協の
今を伝える

No.136

2026年1月

三重県生活協同組合連合会

〒514-0009 三重県津市羽所町379
TEL.059-228-9913 FAX.059-228-9915あけまして
おめでとうございます。

消費者のくらしは、大変な状況になっています。消費者物価の上昇は、この3年間で10%を超え、主食であるお米の価格は2倍になっています。この主要な原因の一つは円安による輸入物価の上昇や、お米は政府の需給判断のミスによるものです。低金利の是正と食料自給率を増やす政策変更が求められています。

温暖化による異常気象や自然災害の発生で、毎年各地で大きな影響が出ています。自然エネルギーの拡大、省エネ、資源循環などのいっそうの取り組み強化や、南海トラフ地震などの災害発生時には行政や地域諸団体と連携し、自力を強化し地域支援を進めます。

世界では、戦争が各地で勃発し継続しています。平和憲法を持つ日本は、国家間対立に組み込まれて軍事力強化を進めるより、平和的解決を推進し、戦争リスクを除く戦略的外交の強化が必要です。核兵器禁止条約が世界で広がる中、非核三原則を見直すことは、核兵器廃絶の道を閉ざすことになります。

国際協同組合年では、協同組合が地域社会に対して何ができるのかが検討されてきました。協同組合の今後の役割発揮として、地域社会への貢献を通じて、地域共生社会を広げるよう努力していきます。

三重県生活協同組合連合会 会長理事 茂木 穰



活動報告

「第47回東海北陸生協行政合同会議」が開催されました

2025年10月10日(金) 三重県四日市市のプラトンホテル四日市にて「第47回東海北陸生協行政合同会議」が開催されました。本会議は、東海北陸生協県連協議会の主催で、東海北陸6県の行政と生協の相互理解を深めることを目的に毎年開催されているものです。今年度は三重県での開催となり、生協行政合同会議には厚生労働省や日本生協連、特別講演講師、東海北陸各県行政、東海北陸生協県連協議会から52名の参加がありました。

【第1部】生協行政合同会議 13:30~17:00

【第2部】夕食交流会 18:00~20:00

会場：プラトンホテル四日市（三重県四日市市西新地7-3）

主催：東海北陸生協県連協議会（富山・愛知・石川・岐阜・静岡・三重）

共通テーマ：行政と生協のパートナーシップ

今回のテーマ：IYC2025～安心して暮らせる地域社会をつくる

特別講演 「IYC2025／安心して暮らせる地域社会をつくる
～生協は地域に何ができるか～」

三重大学名誉教授、日本協同組合学会元会長、
京都大学学術情報メディアセンター研究員 石田 正昭氏

開催県報告 「三重大学生協×コープみえ コラボオープン・カンパニー」
三重大学生協 専務理事 竹内 信也氏



石田 正昭氏



竹内 信也氏

一人は万人のために 万人は一人のために

生活協同組合
コープみえみえ医療福祉
生活協同組合三重県学校
生活協同組合三重大学
生活協同組合三重短期大学
生活協同組合三重県立看護大学
生活協同組合三重県労働者共済
生活協同組合

開催報告

「2025年ハート平和行進」を開催しました



6月14日（土）「2025年ハート平和行進」を津市で開催しました。東海のピースリレーは5月に静岡県から愛知県へ、6月には岐阜県へと参加者の平和を願う想いととも引き継がれ、この日に三重県へと引き継がれました。

《ピースリレー 引継ぎ集会&ハート平和行進 出発集会》

全岐阜県生協連とピースリレーの引継ぎ集会を行いました。その後、三重県原爆被災者の会、国民平和行進のみなさんとともに総勢100人で出発集会を行いました。

《ハート平和行進》

お城西公園から三重県教育文化会館までの約2km、横断幕や黄色い風船をかかげ、沿道の人たちに「核兵器をなくそう」「命を守ろう」と呼びかけながら、約60人の参加者は国道23号線沿いに元気に行進しました。

《ハート平和行進 終結集会》

三重県教育文化会館に到着後、三重県原爆被災者の会の山口会長のご挨拶の後、三重県知事への「平和の要請」が読み上げられ、手渡されました。



開催報告

2025ピースアクションinヒロシマに参加しました

8月4日（月）～5日（火）に開催されたピースアクションinヒロシマに、三重県生協連から役員が参加しました。ピースアクションinヒロシマは、被爆体験の継承や核兵器のない世界への思いを共有する場として、広島県生協連と日本生協連が開催しています。2025年度のテーマは「『戦争も核兵器もない平和な世界』の実現を！！～平和とよりよい生活のために～」です。全国の仲間とともに分科会で被爆の実相や継承活動を学び知り、日頃からできることについて考える機会となりました。



被爆した子どもが書いた「碑めぐり」平和祈念公園内原爆詩の参加型朗読会
「碑めぐり」平和祈念公園内の主な遺構・慰霊碑を見学

開催報告

「被爆者が描いた原爆の絵を街角に返す会」
11号碑建設募金を送金しました

三重県生協連理事会は、広島県生協連からの呼びかけにお応えし、ささやかではありますが建設募金をお送りしました。

被爆者が描いた原爆の絵を街角に返す会HP



開催報告

地域のみなさんとともに、社会貢献活動に参加しました

■7月5日（土）MJC（三重県協同組合連絡協議会）の一員として、三重県漁業協同組合連合会主催の「県内一斉海浜清掃」に、会員生協役職員11名が参加しました。当日は早朝から漁業関係者やJA等の協同組合や団体、地域の方々など約320人とともに、津市白塚海岸に残された空き缶や流木ごみなどを大量に回収しました。



■9月24日（水）MJC主催で、津駅周辺の合同清掃を実施しました。社会・環境への貢献や地域の美化、協同組合組織の連帯感を深めることを目的に、JAグループ三重、三重県漁業協同組合連合会、三重県労働者福祉協議会、三重県中小企業団体中央会、生協コープみえと三重県生協連から29名が参加しました。清掃中には、地域の方から「ご苦労さま」とのねぎらいの言葉をいただきました。



開催報告

三重大学生協×コープみえ コラボオープン・カンパニー
が開催されました

8月8日（金）三重大学地域共創プラザ2階食堂ホールにて「三重大学生協×生活協同組合コープみえ コラボオープン・カンパニー」が開催されました。今回で2回目となり、三重大学生13名、職員5名の計18名の参加がありました。午前は各生協の組織概要と活動紹介を学び、午後からは2つのグループワークに取り組みました。

参加した学生からは「地域の社会問題を生協という観点で考えたことがなかった、貴重な機会だった」などの声が寄せられました。



開催報告

IYC2025「ヒロシマ・ナガサキ、沖縄から
男鹿和雄展 in MieMu」を開催しました。



被爆・戦後80年の今年、三重県総合博物館と公益財団法人第五福竜丸平和協会にご協力いただき、7月19日（土）から8月3日（日）までの期間、三重県総合博物館（MieMu）で「ヒロシマ・ナガサキ、沖縄から男鹿和雄展 in MieMu」を開催しました。

男鹿和雄氏によって描かれた、俳優 吉永小百合氏による原爆詩朗読会「第二楽章」シリーズの挿絵や絵画など44作品を展示し、延べ2,000人に近いご来場がありました。

核兵器や戦争の悲惨さ、平和の大切さを、男鹿和雄氏の温かみのあるやさしいタッチの絵画を通して多くの方に感じていただける場となりました。期間中の特別企画にも多くのご参加がありました。

- 「被ばくの証言」三重県原爆被災者の会
- 特別講演「ヒロシマ・ナガサキから80年」公益財団法人第五福竜丸平和協会 安田 和也氏
- 「絵本の“絵”の読み聞かせ」
- 「オンライン灯ろう流し」※

※「オンライン灯ろう流し」とは、ヒロシマ「」継ぐ展実行委員会主催のプロジェクトです。来場者はスマートフォンで平和のメッセージを託した灯ろうをデジタルの川に流しました。



「被ばくの証言」三重県原爆被災者の会



絵本の“絵”の読み聞かせ



オンライン灯ろう流し

開催報告

2025年度 三重大学 特殊講義「協同組合論」が開講しました

10月7日（火）より、2025年度三重大学人文学部特殊講義「協同組合論」が開講しました。今年度は40名の学生が受講登録されています。

本講義は15講義で構成され、現代社会の諸問題を学ぶことで協同組合への理解と関心が広がることを目標としています。今年も三重県の各協同組合や、日本生協連など全国諸団体のご協力を得て、第一線でご活動中の方々にご講演いただきます。学生達は協同組合の役割や意義の理解とともに、現代社会の諸問題やこれからの協同組合についての考察をすすめていきます。



今年の講義テーマ

企業・行政と市民セクターとしての協同組合
協同組合の仕組みと原則
生協運動の現在と未来
大学と協同組合
消費者と協同組合
医療・福祉と協同組合
漁業と協同組合
協同組合と共済
金融と協同組合
労働者福祉と協同組合
働く人の協同
協同組合と市民
ICAとIYC2025
協同組合と現代社会
協同組合の未来

活動報告

監事監査研修会「監事監査の基本と監査のポイント」を開催しました

10月20日（月）アスト津 会議室1にて監事監査研修会「監事監査の基本と監査のポイント」を開催しました。日本生協連 渉外広報本部法務部の井藤 康治氏を講師にお招きし、会員生協から19名の参加がありました。

研修会では、生協法に規定されている監事の職務及び権限などについて、目的や基本事項、監事監査の全体像について学びました。参加された各会員生協の役職員には、基本的な考え方や監事監査業務の実践に関する理解を深めていただく学びの場となりました。



井藤 康治氏



お知らせ

三重県 食の安全・安心研修会「お米の流通ってどうなっているの？」開催のお知らせ

食の安全・安心をテーマとした研修会を三重県との共催で開催します。

「いつものお米を毎日安心しておいしく食べたい」

そんな消費者の願いがゆらぐ事態が、お米の価格や供給面で続いています。

今年度は、田んぼから消費者の手にとどくまでのお米の流通経路や、値段はどのように決まっているのか、価格高騰した背景や2025年の三重県内のお米の生産状況について等を学びます。

- 日時** 2026年1月24日（土）10:00～11:40（受付9:30～）
- 場所** アスト津4F 会議室1（津市羽所町700（津駅から徒歩1分））
またはオンライン（Zoom）
- 講師** 東海農政局 生産部生産振興課 寺師 義光氏（農産政策調整官）
東海農政局 消費・安全部米穀流通・食品表示監視課 原 富士夫氏（米トレーサビリティ監視係長）

- 募集人数** 会場50人、Zoom100人程
- 主催** 三重県、三重県生活協同組合連合会

- 参加申し込み** インターネットで受け付けています
<https://form.os7.biz/f/af45cbb1/>
1月15日（木）締切（参加費無料）



＜開催概要＞

日 時 2026年1月24日（土）
10:00～11:40（受付9:30～）
場 所 アスト津4F 会議室1
（津市羽所町700（津駅から徒歩1分））
オンライン（Zoom）

募集人数 会場50人、Zoom100人程
主 催 三重県、三重県生活協同組合連合会

参加料 1月15日までに
<https://form.os7.biz/f/af45cbb1/>
インターネットまたは会場にて申し込みください。

講師 寺師 義光氏（東海農政局 生産部生産振興課 農産政策調整官）
原 富士夫氏（東海農政局 消費・安全部米穀流通・食品表示監視課 米トレーサビリティ監視係長）

- ※ 講演内容（予定）※
- 食の安全・安心について
- 一人ひとりの食生活の安全・安心について
- お米の価格はどう決まっているのか？
- 価格高騰の背景と今後の見通し
- 三重県内の米の生産状況（2025年）
- 日本のお米の歴史 など

お問い合わせ 三重県生活協同組合連合会 TEL.059-228-9913